

## ドーマーの入力方法（部品を利用して表現する場合）

文書管理番号：1243-01

### Q. 質問

3D パースでドーマーを表現したい。

### A. 回答

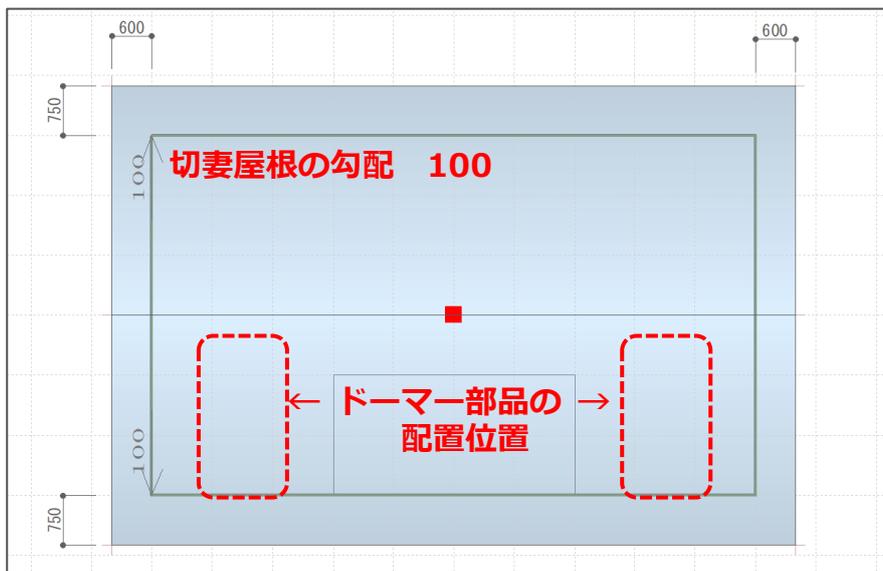
3D パースでドーマーを表現するには、 (屋根伏図) で  (屋根面) を入力する方法と、 (屋根部品) の  (ドーマー) を配置する方法があります。

ここでは、 (屋根部品) の  (ドーマー) を配置して表現する方法を説明します。



## 操作手順

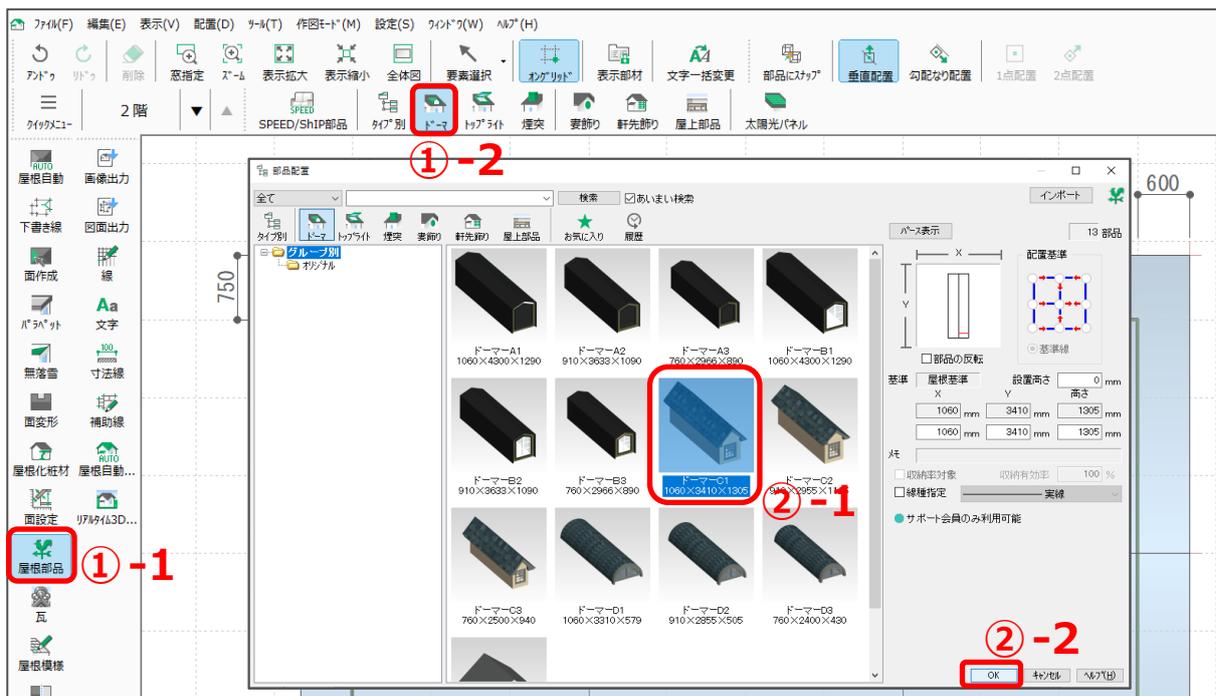
屋根伏図で切妻屋根を入力した後の操作から説明します。



切妻屋根の詳しい入力方法は、FAQ、A's（エース）のマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

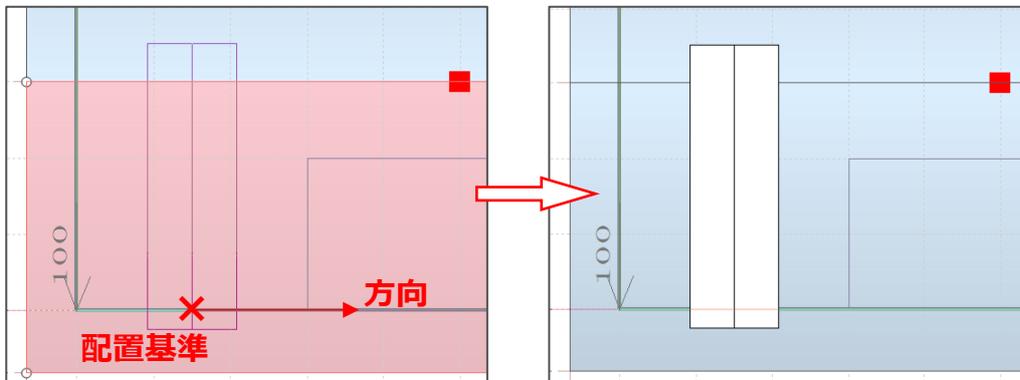
### [\[1044\] 切妻屋根の手動作成方法](#)

- ① (屋根部品)をクリックし、 (ドーマー)をクリック
  - \* 部品配置の画面が表示されます。
- ② 配置する部品を選択し、「OK」をクリック
  - \* ここでは、「ドーマーC1」を選択します。

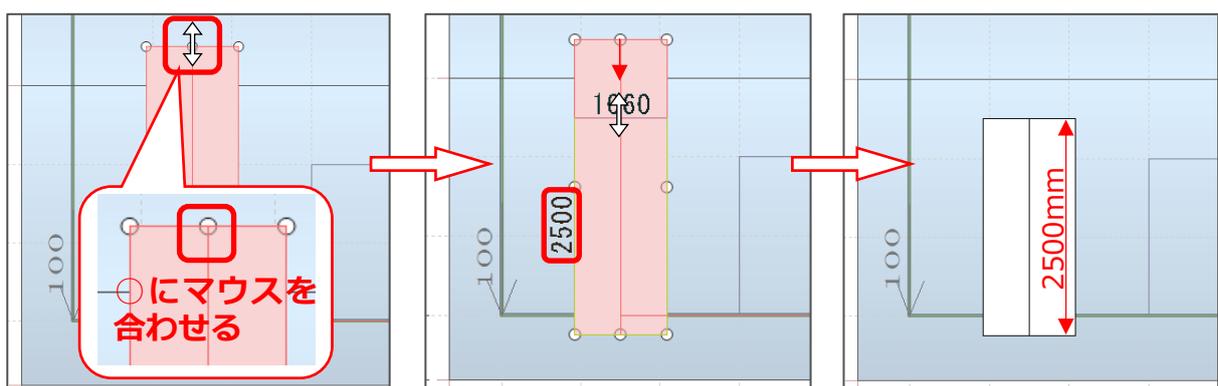


\* マウスとともに、ドーマー部品のラバーバンド表示が動きます。

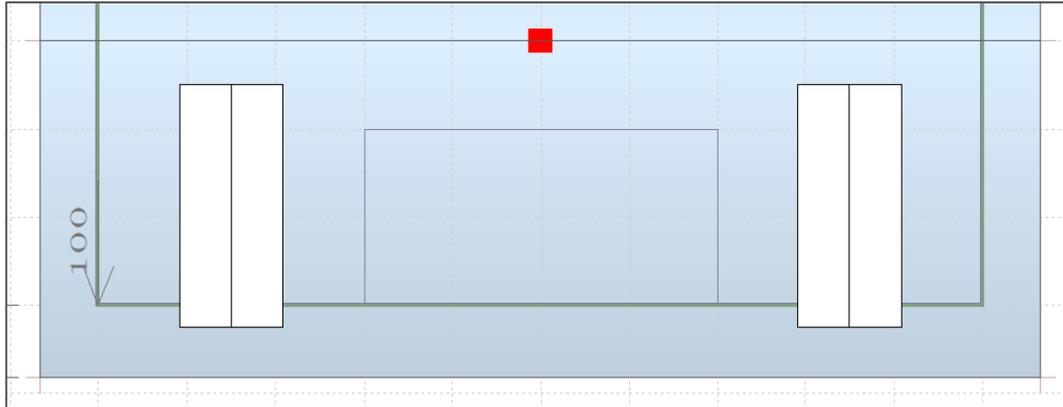
- ③ ドーマー部品を配置する屋根上の、ドーマー窓の壁の芯にあたる位置でクリックし、方向をクリック
- \* マウスのスナップ位置が窓側です。切妻屋根の水下側に窓が来るように、方向を指示してください。
  - \* 「ドーマー-C1」が配置されます。



- ④ (要素選択)をクリックし、配置したドーマー部品をクリック
- \* ドーマー部品が選択され、部品の周囲に○が表示されます。
- ⑤ ドーマー部品の棟上にある○にマウスを合わせ、マウスの形状が「⇄」に変わったら、ドラッグで部品を変形
- \* ドラッグした位置までドーマー部品が伸縮します。
  - \* ドーマー部品が切妻屋根の棟を超えると、不要な位置にドーマー部品が表示されるため、棟を超えないようドーマー部品のサイズを調整します。
  - \* ドラッグで変形中は部品のサイズが表示されます。表示されるサイズを参考に、ここでは、「2500」mm になるよう調整してください。



- ⑥ 操作③から⑤の手順で、ドーマー部品をもう 1 つ配置



- ⑦  (3D パース)で確認



**【参考】**

ドーマー部品は、外観表現を目的としています。

ドーマー部品の下には切妻屋根の面や部品の底面が存在しています。

そのため、内観表現には対応していません。